

人は支え合っていく

金ミル (高等部 最優秀賞)

皆さんこんにちは。私は慶北外国語高校の金ミルと申します。

早速ですが、皆さんは「マル・マル・モリ・モリ♪～」という歌をご存知ですか。この歌は今年の春に放送されたドラマ「マルモのおきて」の主題歌です。子役の二人が踊って歌っているこの曲は総売り上げ20万枚突破、という大ヒットを記録しました。なぜ、この歌がこれだけの人気を集めたのでしょうか。ただ子供たちが可愛いからでしょうか。私はそうは思いません。この歌が異例のヒットとなったのは、支え合う社会を求める人々の心に響いたからだと思います。

この歌は「忘れ物するなよ♪～」、「お腹出して寝るなよ♪～」など、どれもすごく日常的で何気ないことのようにでありながらも、しかし何よりなくてはならないやさしい言葉で歌詞が綴られています。また、「悲しくて泣いていた一人歩く帰り道♪～、こんな時ホンワカナみんなに会いたいな♪～」というフレーズは、まさに、「支え合って生きていきたい」、という私たちの「心の叫び」だと思いました。

ならば、「支え合う」ことを、人々はなぜ求めるようになったのでしょうか。個人主義、利己主義が蔓延している現代社会で、私たちは「一人が楽」、「人とかかわるのは面倒くさいだけ」と言います。しかし皆さん、も～う少しだけ、立ち止まって考えてみてはどうでしょうか。私たちの生活は自分ひとりで成り立っているものなのではないでしょうか。もしかして大切な存在を忘れては

いないでしょうか。いつも味方になってくれる家族、毎日を楽しんでくれる仲間、、、私たちの周りには支え合える人々が沢山います。私はこの殺伐とした社会の中で、一人で生きることに疲れた人々がその大切なつながりに気づき「支え合う社会」を求めるようになったのだと思います。

その願いを実現するために、多くの人々が今、「支え合い」を実践しています。今年の3月、東日本大震災が発生しました。地震による被害は想像を絶するものでした。世界中の人々が哀悼の意を表し、自分ができることをやり始めました。私も被災地の方々の力になりたいと思い学校の募金活動に参加しました。このように物資の供給やボランティア活動など、それぞれの「支え合い」は地震の発生から5カ月が経った今も続いています。

何もかも一人で、を好む今でさえも、人々は社会を作り、その中で生きています。そうです。私たちは決して一人で生きていくわけではないのです。だからこそ社会を築いていけるのです。「分かち合う喜びは、2倍の喜び。分かち合う悲しみは、半分の悲しみ」というスウェーデンのことわざが意味するように、「支え合い」というものは生きていく中でなくてはならない大切なものです。「マル・マル・モリ・モリ♪～」が大ヒットになった理由、そう、「支え合う大切さ」、今、私達はその大切なものを守れる社会を目指していくべきではないでしょうか。

ご清聴ありがとうございました。

1095日、36ヶ月、そして…3年

鄭裕静 (高等部 金賞)

こんにちは、私は忠南外国語高校3年生の鄭裕静と申します。今日、この場に立って、スピーチできることをとても光栄に思います。

さて、皆さんに質問があります。皆さんのご家族は何人ですか？

私は父、母、私の3人家族ですが、私にはもう一つの家族があります。

それは、忠南外国語高校日本語科の3年6組のみんなです。

日本語と日本の文化が大好きだった私は、一昨年、今の高校に入学しました。最初はただ受かったことが嬉しく、高校生活がとても楽しみでした。しかし、学校が始まり、あることが心配になり始めました。私の学校は日本語科が一学年にクラスしかありません。つまり、誰かが転校し、また誰かが転校して来ない限り、1年生から3年生まで、クラスの構成員が変わらないということです。

それは私にとって大きなプレッシャーでした。できたばかりの学校に全国から集まったクラスのみんな。

私は誰一人知らず、あまり社交性がある方でもなかったので、'私が30人のクラスメートと仲良くできるのかな？、もし喧嘩したら3年間どうしよう…'など、心配が絶えませんでした。

そのうえ、厳しい規則の中での寮生活で、両親には一ヶ月に一度しか会えず、不安と寂しさはますます大きくなりました。だけど、それは、私だけではありませんでした。皆が心配し、不安に怯え、寂しがっていて、私と同じだったのです。それがわかったとたん、すぐに皆と仲良くなりました。

色々な話をしてお互いを知り、学校行事

などでみんなで力を合わせて一つずつ物事をやり遂げていくうちに、言葉では説明できない絆が生まれ始めたのです。学校に通うだけだったら、ただの友だちで終わります。しかし、一つ屋根の下で一緒にご飯をたべ、寝ることで家族になるのです。もちろん、今まで良いことばかりあったわけはありません。人それぞれ価値観が違い、性格も違い、自分に合う人がいる反面、合わない人もいます。男子、女子に分かれて喧嘩したこともありますし、女子の間でも何度も争いがありました。私もみんなのせいであれこれ傷ついたことがあり、その時は、顔も見たくないくらいみんながいやになったりもしました。だけど、時間が経つとまたみんなのことが好きになるのです。

意見の違いで母と喧嘩をしたとします。喧嘩した時は母のことがすごくいやになりますが、時間が経ち、振り返ってみると、母は私にとってやはり大切な人であって、とても愛する人だと気づくのです。それと同じです。なんだかんだ言っても、3年間という時間を共に泣き、笑い、怒り、喜びながら過ごし、一つ屋根の下で寝食を共にした大切な家族なのです。もう、彼らと一緒に過ごせる時間があとわずかしかなかったり残っていません。今は受験生という立場上、思いっきり遊ぶことも、話すことも、休むこともできませんが、そうやって頑張った分、みんなのそれぞれの目標が叶えられることを願っています。

そして、10年、20年後に、変わったような変わってないような、そんなみんなとまた会える日を楽しみにしています。

ご清聴ありがとうございました。

自分を変えた出会い

崔智恩 (高等部 銀賞)

こんにちは。私はチュンム高校の3年生のチェ・ジウンと申します。

私が日本語に興味をもつようになったきっかけは日本のドラマでした。

初めは韓国のドラマとは違うテーマに関心を持ち、つぎにそのドラマの中に映る日本の文化がすきになり、そして自然に日本語が好きになっていました。それがきっかけで日本語の勉強をするようになり、今では将来に日本語関係の仕事につきたいと思うようになりました。しかし、そんな私にもいろいろな葛藤がありました。

私は根気がなく、何をしてもいつも途中で諦めてしまう学生でした。だから、根気を必要とする日本語の勉強が、私にはとってとても難しく、途中で諦めたいと思ったことが多くありました。また、私は人前で話したり、発表することがとても苦手な学生で、いつも発表の時間になると私の順番が来るのが怖く、自分の考えをはっきりいうことができませんでした。日本語の会話をするときも同じく、好きで始めた日本語もだんだんほかの勉強のように、「やりたくない」と思いながらするようになってしまいました。

しかし、私にもう一度日本語の勉強にやる気を出すようにしてくれた出会いがありました。高校2年生の夏休みに日本に一ヶ月キャンプに行き、そこでみゆという日本人の友達に出会ったことです。みゆとは日本にいたとき、多くの時間を一緒に過ごしました。国が違い、言葉も違いましたが、互いの国の文化に関心があるということだけで、すぐ仲良くなりました。でも、話をするとき、もっと話したいことがたくさんあるのにうまく伝えることができませんでした。

しかし、みゆはそんな私の片言の日本語をよく理解し、ちゃんと聞いてくれました。みゆと別れる最後の日、わたしはみゆに、本当にありがたく思い、そのような私の気持ちをはっきり伝えたかったのですが、実際に口から出た言葉は「ありがとう」の一言だけでした。もっと詳しく私の気持ちを伝えたかったのに、それができず、わたしの日本語に限界を感じ、とても悲しかったです。

「自分の気持ちをきちんと伝えられるようになりたい」ということがきっかけになり、私は日本語の勉強をまた頑張るようになりました。それまでは日本語を単に勉強としてとらえていましたが、今では未来に向かってもっと楽しく勉強するようになりました。自分のしたいことを一生懸命することはとても幸せなことです。この幸せはみゆとの出会いによって得られたものです。いつも震えてばかりいて、いつも放棄してばかりいた私が、今日、ここで発表できるようになったのは、日本語が私にとって大きい意味を持つ言葉だということがわかったからです。

実は、こんなに大勢の人たちの前で発表すると、まだ非常に緊張します。でも、以前の私だったらこの場で座り込んでしまったかもしれません。私はこの出会いにより自分を変えることができました。

あなたが迷っているとき、そこからあなたを救ってくれる出会いが、どこで待っているかは誰もわかりません。私の場合は人との出会いでしたが、それが一編の詩、または一枚の写真になるかもしれません。自分のしていることに大きな意味や価値を見いだす出会いを探す努力をしてみてもいいのでしょうか。

ご清聴ありがとうございました。

人類の平和共存への道

金真秀 (高等部 銅賞)

皆さん、こんにちは。私はブフン高校のキム・ジンスと申します。

早速ですが、皆さんは、人間が利益を生み出すための道具として扱われる現状について考えてみたことがありますでしょうか。多数の企業が極端的資本主義に基づいて経営されている今、世界各地の労働市場では社会的弱者を対象にした労働力の搾取が蔓延しています。しかし最近、労働力の搾取などといった非倫理的経営に対する批判が激しくなり、その対策として「フェアトレード」と「儒教的価値観の育成」が注目を浴びています。

まず、フェアトレードとは、中間商人が過剰な利益を取る従来の貿易とは違って、中間商人なしに企業と生産者が同等な立場で直接取引をする貿易の形です。このフェアトレードの一番の長所は生産者に正当な代価が保障されるという点です。よって、生産者は無理な生産をしなくなり、生産者の健康の維持と自然環境の保全という利点が得られます。その実例として、全世界のカカオ生産の大半を担うアメリカ西部で行われたフェアトレードがあります。生産者に正当な代価が払われることはもちろん、利益の一部は難民のための学校や病院を建てるのに使われました。この実例から分かるようにフェアトレードは難民が基本権を享受できる環境づくりに貢献しています。

次に、儒教的価値観とは、人間と自然の調和や己を鍛えることによる円満な人間関係を重視する東北アジアならではの価値観のこと

です。現代に至って資本主義や合理主義の限界が表面化し、東西の学者たちは様々な社会問題の解決法として儒教的価値観に注目しています。調和を重視する儒教的価値観が弱まった社会的きずなを回復する手段として良い見本になるからです。その実例に、ドイツで行われたライン川再生事業があります。この事業は経済的な利益よりも自然環境の保全を重視したという点から儒教的価値観の適用例だと言われています。

要約すると、人類の平和共存のために、経済的にはフェアトレードの、思想的には儒教的価値観の長所を収用することが必要です。そうすることで自然環境の保全や人間の尊厳の回復、ひいては道具的合理主義が支配している現体制を批判し、正すこともできるでしょう。

私は最近、フェアトレード組合に少額ながら後援金を送り、フェアトレード製品を買い始めました。フェアトレードの取引量が1%増えるだけで約1億3千万人の難民の生活水準が大幅に改善されるという調査結果を目にしたのがきっかけでした。確かに、個人の努力では大して変わらないかも知れません。しかし、「ちりも積もれば山となる」という言葉のようにその努力が積もって山となれば世界をも変えられる力になると私は信じています。皆さんもぜひ人類の平和な共存の為に小さな努力を注いで見てはいかがでしょうか。では、ご清聴ありがとうございます。

あなたはどんな星を持っていますか

宋美那 （高等部 優秀賞）

皆様、こんにちは。私は昌文女子高校のソン・ミナと申します。

まず、スピーチの始めに、二人の友達について話したいと思います。

一人は中学生の頃から映画の監督になりたいという夢を持っています。その友達は同じ夢を持っている友達とサークルを作って映画の制作をし、映画祭に参加したり、UCCなども制作しながら自分の夢に向かって進んでいます。

もう一人は、まだ将来の夢が決まっていません。ただ、「就職しやすければ、大学で何を専攻しても良い」と思っています。ある日、その友達の面接の練習に付き合ったのですが、彼女の表情と答え方から志願する学科に対する情熱を見つけられませんでした。

皆さん、この二人の違いは何だと思えますか。

私は、この二人の違うところは、夢を持っているか、持っていないかの差であると思います。

夢を持っているか、持っていないかによる成功の違いについて、ハーバード大学で研究した結果があります。ハーバードの学生のなかで、夢を持っている学生は僅か3%に過ぎなかったそうです。10年後、彼らの暮らしを比べた結果、夢を持っていた3%が成功し、夢を持っていなかった97%は成功しなかったそうです。この研究の結果から、夢の有無が成功するかしないかにつながるがかかります。

自分の夢を持たず、ただ時間に流される人

生。また、夢を持っていても、「その仕事は金にならない」とか、「その仕事は成功するのが難しい」という周りの話を聞き、仕事を始める前に簡単に諦めることは本当に愚かだと思います。

しかし、夢を持っていれば、成長し続けると思います。なぜなら、夢のために一生懸命に努力するからです。もし、その夢が叶えられなくても、夢を目指して努力したことで未来に突然訪れる良いチャンスを掴めることができると思います。

だからといって、ただ夢を持つことだけでは何も叶えられません。例えば、「ダイエットに成功する!」と、言いながら詳細な目標を立てない人は、三日坊主に終わるでしょう。しかし、「毎日朝8時から10時まで運動をして5キロを減量してみせる!」と詳細な目標を立てる人は、ダイエットに成功すると思います。このように、夢を叶えるための具体的な計画を立てないと、夢を叶えることは難しいと思います。

世界で最初にホスピス運動を展開したエリザベス・キューブラーロスが書いた「ライフ・レッスン」という本には、次のように書いてあります。「星に触れることができないのは不幸ではない。不幸なのはあなたが触れたいと思う星を持っていないことだ。」

夜空に輝いている星をただ見上げることでなく、その星を持つために努力すべきだと思います。皆さんはどんな星を持っていますか。

ご清聴ありがとうございました。

私と日本語 ― 壁は必ず超えられる！―

皆さん、こんにちは。

皆さん、皆さんは壁にぶつかったことはありませんか。

私は中学1年の12月、「日本語」という壁にぶつかりました。

ひらがなカタカナの時は良かったのですが、4級の単語が始まり教科書を開いたとき、私は目の前が真っ暗になりました。なんと、教科書は漢字だらけだったのです。

今まで漢字のテストといえば、28点が最高だった私にとってそれはまさに悪夢そのものでした。しかも授業で使われる文法用語や難しい韓国語の意味もわからなかったのです。その時は、年も成績もそのクラスで一番下でした。

日本語学院の先生いわく、当時の私はいつも泣きそうな顔をしていたそうです。

周囲からも「そんなに大変だったら、やめればいいじゃない。」と言われましたが、体育会系で鍛えた粘り強さと、私が日本語を始めるきっかけになった亀梨和也さんと話をするまでは絶対にやめられない！と思い頑張りました。

皆さん、やはり、愛は強し！ですね。

そこで私は無鉄砲な作戦にでました。もう考えても仕方がないので何も考えずに、先生の言う通りに全てやろう、そして先生が「やればできる」とおっしゃった言葉のみをひたすら信じてやったところ、3級の終り頃にはそのクラスのトップになっていたのです。「日本語」という壁を超えられたのです。

その後、日本語の魅力にとりつかれ日本語中心の生活にどっぷりと浸っていた私は、当然のことながら成績が下がり、猛反対を受けるようになりました。

李眞景 (中等部 最優秀賞)

その時の私も反発的で問題があったと反省しています。しかし、この問題も日本語を勉強しながら身につけた集中力と読解力のおかげでしょうか。特に勉強をしたわけではないのですが、成績が上がり自然に解決していきました。

そんな私のもう一つの問題点は、人を見るとき、その人の欠点が先に目についてしまうというところでした。しかし1級に合格した頃から、人の悪いところよりその人の良いところが先に見えてくるようになったのです。

不思議な、でも心が暖くなる嬉しい発見でした。

これは、日本語にはあまり強い悪口とかがないので、結局、美しい言葉を使うようになって心もその影響を受けたからではないでしょうか。

少しですが、性格の壁を超えることができたようです。

私は日本語劣等生から優等生までの段階を踏みながら、大変なことも沢山ありましたが、それ以上に嬉しいことや楽しいことを経験しました。

今は個人の壁の一部を超えたに過ぎないかもしれませんが、個人の壁が超えられたら世界の壁も超えられると思います。特に言葉が通じれば、相手とストレートに通じ合えます。まさに壁がないのです。

私はこれからも日本語の勉強を通して成長してきた自分を誇り、頑張っていきたいと思います。こんな私でも頑張れたのですから、誰にでも道は開かれていると思います。

皆さん、これからも一緒に頑張らしましょう。どうもありがとうございました。

砂漠の黒いシンデレラ・ワリス・ディリー

孫寶美 (中等部 金賞)

ワリス・ディリーという名をご存じですか?ソマリア出身のスーパーモデルです。

私はこの世界に存在する数多くの人物のなかで彼女を選びました。その理由をこれからみなさまにお話ししましょう。彼女は1965年ソマリアの遊牧民の一族として生まれました。彼女の幼児期はほとんどの遊牧民みたいに砂漠を横断したり山羊を導いて水を飲んだりそうしながら普通に送りました。そんな少女に5才のとき彼女の人生にすごく影響を与える事件'女子割礼'はアフリカの2000年にわたる伝統、いや、悪習です。それは麻酔もなしに、不衛生の環境で女性の陰部を封鎖することを言います。それも専門家が行うのではなく土地の伝統的助産師によって剃刀やナイフ、鋭い石などで行われます。不衛生な状況下でたいてい麻酔なし鎮痛剤なしで行われることが多いです。さらに止血に泥や灰が使われることもあるそうです。この悪習のせいで死ぬ女性もたくさんいるそうです。死んでいなくても大人になって出産するとき大きな苦痛と危険があると言います。この残酷な儀式を受ける女性、また被害の女性は年間に200万人、一日5500人近い少女がこの儀式を受けます。すでに受けた女性は1億3000万人以上です。ワリスは死境をさまよいながら何とか生き延びることができました。この割礼の試練を乗り越えた彼女の身に13才の時ま

た別の試練が待っていたんです。彼女の父親はラクダ5頭で彼女を60代の男性と結婚させようしました。彼女は悩んだすえにマフラ一枚で家を出て、モガディシュの叔母のところに行きました。そこで六年間家政婦として暮しました。そうしているうちにモデル関係者の目にかかってモデル仕事を始めます。世界各国を飛び回り、いつからかスーパーモデルと呼ばれるようになりました。そうしているうちに恋人と結婚をします。だが彼女の試練は残っていました。幼いころ受けた割礼のせいで出産するとき大きい危険を伴うということです。悩んで下した結論は手術を受けること。そして、彼女は割礼の苦しみから逃げられました。こんな人生を歩んできた彼女は心のなかであることを決めます。自分みたいに割礼で苦しむ人々が多い。彼女らのために私はこの身を張ろう。彼女は自分の名前を掲げてワリス・ディリー財団を立てて年間割礼のせいで苦しむ女性たちを助けだし割礼追放運動に力を注いでいます。こんな彼女の人生をみて私は自分を顧るようになりました。私もワリスみたいなすばらしい生き方をしたいと。。心からそう思うようになりました。私が彼女を選んだ理由は彼女の人生は壮大で試練に決して屈しない強さを持っていたからです。

私の住む町

許ビヨル (中等部 銀賞)

皆さん、どうもはじめまして。釜山女子中学校の3年生、ホ・ビヨルと申します。

今日私は自分が生まれて、今まで住んでいる町に対してお話したいと思います。

学校の名前から分かるように、自分は釜山出身で、その中でも「ボス洞」という町に住んでおります。ご存知の方もいらっしゃるかも知れませんが、この「ボス洞」は古本屋さんの街で有名です。

かつての朝鮮戦争で釜山は文字その通り避難民の都市でした。戦争を避けて釜山まで余儀なく下って来るようになった沢山の人々はここ、釜山で定着して住んでいく事になったのです。その中でもボス洞の周りは露天教室や天幕教室がいっぱい、ボス洞の路地辺りは学生さんの通学路としていつも込んでいました。

当時社会はみんな大変だったし、出版の文化もあんまり落ち着いていなくて本はとても貴重なものだったそうです。新しい本だけじゃなく、古本も同時にですね。

新しい本はさすがに滅多にないものだし、それよりはちょっとハードルの低い古本の方が学生達等の需要と相俟っててひとつずつそれのお店ができるようになりました。それがどんどん発展し、古本を主に扱う本屋だちの街が作られたんです。60～70年代の頃はこの古本街の全盛期と言われていました。

生活が貧しい人達はここで自分の大事な本を売り、また別の人はその安い値段で買って、学びの道に進むことができます。個人的には本当に素晴らしいことだと思います。

それだけではなく、漫画や雑誌、時々貴重な古書まで流れ込んできて、今でもボス洞に

行ったら探せない本はあんまりないと思います。

でもやっぱりここ最近じゃ生活環境と文化的な環境が豊かになってますし、本が貴重だという考えを持っている人はずいぶん減ってきましたね。

どこに行っても手軽に手に入るし、周りに書店がなくてもネットで十分買えるし、それに今はとくに紙に印刷された本の形じゃなくてもいろんな形式で情報を得られる時代なんですから。

そのせいで古本街の書店もずっと減ってきて、今は昔の半分くらいになったとよく周囲から聞かれます。

今の状態だったらそのうちこの古本街が消えるかもしれないと気付いた人達は今の状態を維持できるよう祭りなどの行事を開いて色々頑張っております。

皆さんの町はどうですか？このような特色を街ごとにとひとつずつは持っていると思います。多分知らないだけなんじゃないんでしょうか。自分たちが知らないうちにこのような伝統や特色が今も消えているのかも知れません。友達や知り合いに「どんな所に住んでいるの？」って聞かれた時、「まあ普通な所に暮らしているよ。」って答えるのより自分の住んでいる所ぐらいはどんな場所なのかをはっきり言えるようになるのがもっと望ましい方ではないのでしょうか。

皆さんにも是非そんなものを大切にしてほしいと思います。

ご視聴なさって下さって有難うございました。

日本語、楽しく学ぼう！

朴太旭（中等部 銅賞）

始めまして、私は仁川 清鶴中学教 三年
パク.テウックと言います。

皆さんはどのような方法で日本語を学びま
したか。日本に一度も行ったことがなく、日
本語の塾に通ったこともない私がどのような
方法で一人で日本語を身につけたかについて、
皆さんにご紹介します。

私が小学校4年生の時のことです。

ある日、何気なくTVのチャンネルを回した
私に色とりどりの色彩の映像、面白いストー
リー、韓国語と似て聴きやすい発音の日本語
のアニメーションが目に入りました。元々漫
画や映画がとても好きな私だったのでこのア
ニメーションにすっからはまり、韓国語の字
幕付きの日本のアニメーションを繰り返し見
ることから、私の日本語の学習も始まりまし
た。

もちろん、最初から日本語学習を目的とし
て、アニメーションを見たものではありません。
繰り返し視聴するなかで、誰が何を言ってい
るか、登場人物の言葉と字幕を比べて見なが
ら、単語の意味も覚えるようになりました。
それが自然に学習につながりました。

見て聞くだけで単語の意味がわからないと
きは、韓国語でダビングされたアニメーショ
ンを探して見たり、専門用語や法律用語など
の難しい単語は辞書をひいて私が思っている
単語の意味と合っているのか比較してみるな
ど、私なりの方法を見つけて興味深く日本語
を身につけることができました。

中学1年生の時、道である日本人がだどだど
しい韓国語で私に、ロッテマートへの道を尋
ねたことがありました。その時、私はその日
本人にロッテマートの位置を日本語で説明し

てあげました。日本語で話す私の姿に、その
日本人は驚き。喜んだし、私自身もその日本
人の姿に、とてもうれしく満たされた気がし
ましたが、一方では、より長く、もっと正確
に言いたという気もしました。

このことをきっかけに、私は本格的に日本
語の勉強をしてみようと心に決め、その時か
ら、日本語の"勉強"ということを始めました。

教材を購入して基礎的な文法をマスターし、
今まで"だいたいこうだろう"と思っていた文
章が、状況に応じてどのように表現が変わる
のかを本を通じて学ぶようになりました。で
も、やはり"勉強"と思うと漢字や単語を暗記
することはだんだんつまらないことになり"
嫌いなこと"になってしまいました。

しかし、そのたびに私は昔を思い出しなが
ら、"勉強"、"嫌いなこと"ではなく、"楽しい
事"、
"楽しもう~"という心構えで日本語の勉強を
続けました。

私の経験上、日本語をより簡単に楽しく学
ぶ方法としては、機械的な単純な暗記、"難
しい勉強"と思うより、自然に日本語に接す
ること。例えば、面白い漫画を読む、ゲー
ムをする、アニメーションを見ることなどを通
じ、自ら楽しみながらすることが最も大切だ
と考えます。

皆さんの考えはどうでしょうか？
私と同じ考えならば皆さんも日本語だけでな
く、すべての学びにおいて難しい"勉強"だ
と思わないで、学びの"楽しさ"を求めてみて
ください。

今まで私の意見を聞いていただきありがと
うございます。

校内暴力問題とその対策

権宰暎（中等部 優秀賞）

最近、映画やドラマで学校が舞台になることがよくあります。そのたびに登場する一陣会という校内暴力組織があります。たばこお酒はもちろん、恐喝(きょうかつ) やいじめ、強姦(ごうかん) などをおこなっています。学生で構成されたこの組織はかっこいいからという理由で会員になる場合が多く、組織の最高権力者になりたいと思う学生もたくさんいます。

一陣会に入会し、活動を続けていけば、まともな道には進めないとわかってても、遠い将来のことだと目を向けようとしません。

両親や教師に反抗し、時には暴力や殺人まで犯してしまう学生もいます。

最近、私が住んでいる地域でも実に残念ながら事件がありました。1年生の一陣会のメンバーを2年生の一陣会の学生が呼び出し、問題になって先生に注意されるという過程の中で学校の4階から飛び降りてしまうという事件がありました。

結局その学生は重症を負ったし、先生も学校を辞めるということになってしまいました。注意を受けたことに反感を抱き、そのような大きな事件をおかしてしまったわけです。とても残念でならないことだと思います。

私たちは、これ以上こういう学生が増えないよう対処しなければなりません。まず教師は学生から信頼されるよう努力し、失われた権威を取り戻さなければなりません。学生たちは教師をもばかにしているからです。そして、問題学生を見すごしたり、必要以上に厳しくするのではなく、学生が

心を開いてくれるまで待ったほうが良いと思います。

次に学生と教師、父兄、地域社会の意識の転換が必要だと思います。いくら学校で校内暴力に関する調査をしても、被害を訴える学生はほとんどいません。もし、教師に訴えた場合、しかえしされるかもしれないと恐れているためです。

教師は受け持っているクラスで問題が生じたら、自分の立場より学生を優先し、問題を隠そうとするのではなく、詳しく調査して被害を受けた学生を助けてあげるべきだと思います。

父兄は、自分には関係ないことだと思うのではなく、自分の子どもが問題を起こしてしまったときの対処法を自前に考えておかなければなりません。

地域社会もやはり、校内暴力を単に学校の問題と考えるのではなく、地域社会全体の問題と考え、問題学生に関する相談を受けたり、被害を受けた学生の心理的治療をおこなうなど、できることはたくさんあると思います。

このように、学校、父兄、地域社会が丸となって校内暴力拡大を防ぐ対策を徹底してたてるべきだと思います。